

インターネットでの国語教育史資料検索ページ

黒川 孝広 (吉祥女子中学・高等学校)

1. インターネットの有効性

・広域性

インターネット、あるいはオンラインでの有効性とは、どこからでも、誰でも回線がつながっていればすぐに閲覧できる点

・再利用性

デジタルデータであるから、それをダウンロード(自分のパソコンに保存)し、それを加工するなど再利用できる点

・永続性

データがオンラインにある以上は、劣化することなく、永続して利用できる点

2. インターネットでの問題点

・文字コード問題

文字コードの範囲の文字しか表現できない。

Windows 「? 略」

MS-DOS 「?略」(いわゆるテキスト文字)

と表記できない。これは、Windowsのフォントに入っている文字の問題で、一般にテキストとして表示できる一般のJISコードに入っていない文字であるからである。

英語版Windowsなどでは、「? \$BN, (J」となって、漢字が表現できない。英文字や数字はそのまま表示できるが、漢字は表記できない。また、日本語版では、ハングルや中国の簡体文字、アラビア文字などは表記できない。今後、UNICODEという世界統一規格が流布すれば、同時に表記できるが、漢字の字種には制限がある。

使用しているOSによって、文字コードによって表現できないことがある。

Windows Shift JISコード 「文字」

UNIX JISコード 「\$BJ8;z(J」

Mac EUCコード 「ハカ」

なおかつ大きな問題なのは、現在のJIS規格では全ての漢字を網羅できないことである。実際に岩波の『古典文学大系』をインターネットに公開しようとする、表現できない文字があり、全文公開はできない。

・個人ホームページの限界

個人ホームページは個人が運営している。個人が特定のプロバイダと呼ばれる業者を介して公開している。しかし、個人が死去すると、当然業者との契約が切れ、ホームページが閉じられてしまう。それまで蓄積されたデータも、公の機関に譲渡されない限り、データは全て消えてしまうのである。個人の寿命とデータの寿命が同じなの

である。

・機械に依存する限界

ホームページは電子データであるので、パソコンなどがないと閲覧できない。図書と違い可搬性がない。最近では持ち運びできるパソコンもあるが、図書のように持ち運びできるものではない。その意味では、閲覧できる場所が限られてしまう。

3. データを共有するためには

・特殊文字を使用しない

テキストデータとして有効にするために、ワープロ「一太郎」「Word」などで公開するのではなく、どの機種にでも通用するようにする。

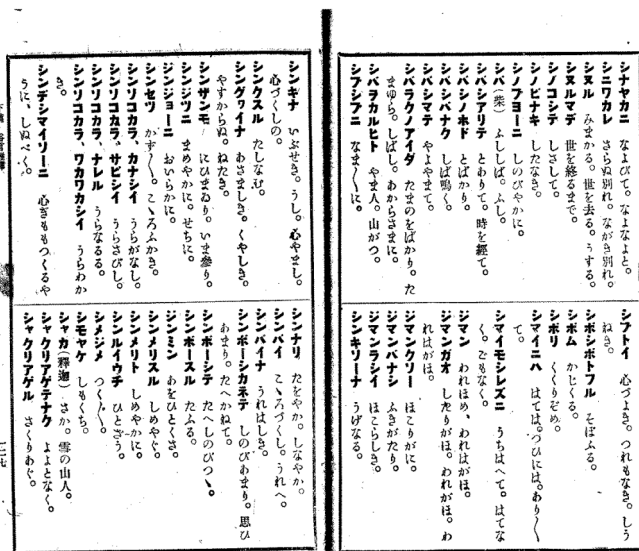
「? 略」

「[#「将」のつくりをへんにし「虎」がつくり]略」

・書籍の版面を画像で保存する

書籍の場合は画像でも保存する。特殊な文字などは、画像で判断することができる。また、国定読本などは挿し絵がカラーのものがある。そのようなものの識別にも画像で保存したほうがよい。画像にしておけば、のちに文字認識ソフト(OCRソフト)によってテキストに変換することも可能である。

複製するときも、翻刻だけでなく、画像としても複製していくことも必要である。(ファクシミリ版)



・公的機関がデータを保存し公開する

国立教育研究所などが教育文献などをテキスト、画像データで公開することがこれらの条件を満たすことができる。著作権問題があるが、基本的には没後50年を過ぎれば全ての著作権(財産権、人格権も含む)が無効となるので、1949年に没した研究者、実践家の書籍などの文献は公開していくことが望ましい。特に昭和の出版事情が劣悪な時期の文献は発行部数も少なく、用紙も劣化していて、資料として利用できないものが多い。そのためにも、公的機関がデータ公開するか、各学会などで公開するのが望ましい。

・図書資料が第一でありインターネットは補助手段

開架で本の背表紙を見ながら思いも掛けない文献に出会ったときは、研究の新しい方向が見えそうなこともある。本は文字だけを必要とするのではなく、あくまでも本の活字や紙、大きさ、小口、花布、表紙などの体裁の全てにも意味がある。図書資料

がまず第一に検索できる場合にその次のステップとしてインターネット利用は便利であるが、最初の情報検索の基礎をしないうちからのインターネット利用については、問題がある。情報検索をテキスト検索のみと考えるのは大きな間違いであり、書籍の体裁や紙面などの情報の一部である。その概念の基礎をふまえないといくらインターネットでの情報収集としても、研究としての情報認定の基礎がしっかりとしない。この点に注意したい。

4 . 国語教育史資料検索ページ

書籍検索ページ

書誌検索 <http://www.book-kanda.or.jp/asp/Search.asp>
日本の古本屋 古書情報 <http://www.kosho.or.jp/Index.htm>
データベース古書検索 <http://www.kosho.or.jp/search/index.htm>
OPAC <http://ss.cc.affrc.go.jp/ric/opac/opac.html>
TRC新刊書籍検索 http://www.trc.co.jp/trc-japa/search/trc_www.htm
Welcome to TOHAN HOMEPAGE <http://www.japan.hosting.ibm.com/tohan/index.html>
データベース古書検索 <http://www.kosho.or.jp/search/index.htm>
学術情報センター Webcat <http://webcat.nacsis.ac.jp/>
出版関連ディレクトリ <http://www.japan.hosting.ibm.com/tohan/directry/index.htm>
日本書籍出版協会 <http://www.jbpa.or.jp/>
本をさがす <http://www.books.or.jp/>
日本図書センター <http://www.nihontosho.co.jp/>
Book Mall Japan <http://www.bookmall.co.jp/index.html>
紀伊國屋書店インターネット仮想書店 <http://bookweb.kinokuniya.co.jp/>

出版社書店

SANSEIDO Co. <http://www.sanseido-publ.co.jp/cyukoku.html>
光村図書ホームページ <http://www.mitsumura-tosho.co.jp/>

所蔵資料検索ページ

NACSIS(学術情報センター) <http://www.nacsis.ac.jp/nacsis.index.html>
WINE(早稲田大学図書館) <http://wine.wul.waseda.ac.jp/>
国内資料 <http://www.wul.waseda.ac.jp/CLIB/MICRO/kokunai.html>
Welcome to Webcat <http://webcat.nacsis.ac.jp/>
国立国会図書館 <http://www.ndl.go.jp/>
近代文学データベース <http://fan.shinshu-u.ac.jp/wada/dbase/kikun.html>
古典総合研究所ホームページ <http://www.genji.co.jp/>
国語関係リンク集 <http://www.shirakami.or.jp/kappei/kokugo-rink.html>
国文学資料館 <http://www.nijl.ac.jp/index.html>
国立国語研究所 <http://www.kokken.go.jp/>

大学・研究所・図書館

東書文庫 - 教科書の図書館 - <http://www.tokyo-shoseki.co.jp/bunko/>
横須賀市資料用教科書目録 <http://www.educity.yokosuka.kanagawa.jp/0shi/index.html>
奈良教育大学教育資料館 <http://www.nara-edu.ac.jp/LIB/siryokan.htm>
図書館リスト <http://skk.math.hc.keio.ac.jp/libraries/wbib.html>
北海道大学附属図書館 <http://www.lib.hokudai.ac.jp/>
島根県図書資料 http://www2.pref.shimane.jp/mec/book/top_menu.htm
国立学校等へのリンク <http://www.monbu.go.jp/jmlink.html>
日本の国立大学 <http://www.cent.saitama-u.ac.jp/etc/kokuritsu.html>
日本の公立大学 <http://www.cent.saitama-u.ac.jp/etc/koritsu.html>
日本の私立大学 <http://www.cent.saitama-u.ac.jp/etc/siritsu.html>
早稲田大学情報検索インデックス <http://www.wul.waseda.ac.jp/link/link-j.html>
埼玉大学 <http://www.cent.saitama-u.ac.jp/etc/search.html>
都留文科大学 <http://www.tsuru.ac.jp/>
大阪教育大学国語教育講座 <http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/%7Ekokugo/index.html>

行政

文化庁 <http://www.bunka.go.jp/>
文部省 <http://www.monbu.go.jp/>

国語教育関係

教育略年表 <http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/somu/kyouikupyou.htm>
全国教育略年表 <http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/somu/zenkokuhyoumts.htm>
全国教育略年表 S 2 0 <http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/somu/zenkokuhyous20.htm>
全国連WebSite <http://www.kokugo.gr.jp/index.html>
朝鮮における植民地時代の日本語教育年表 <http://nihongo.human.metro-u.ac.jp/long/longzemi/koreatimeline.htm>
教育史研究図書 <http://www.nier.go.jp/homepage/seisaku/chousa/hash/kskk8201.htm>
地方教育通史文献 <http://www.nier.go.jp/homepage/seisaku/chousa/hash/tikyou1.htm>
国定教科書資料 <http://www.asa.hokkyodai.ac.jp/tosho/shiryoku/kokutei/shiryoku.html>
中部 国語人 <http://www.infosakyu.or.jp/nishi/index.htm>
国語教科書リンク集 <http://www.sing.co.jp/link/manabi/kokugo/kokugo.htm>
「月刊国語教育」目次 <http://www.shirakami.or.jp/kappei/saisingou/gekan-kokugo.html>
学習指導要領 <http://www2.ascii.co.jp/kenkyusha/mag/gendai/databank/shido.html>
教育関係法令集 <http://www.shirakami.or.jp/kappei/edu-law.html>
高等学校学習指導要領 / 国語 <http://member.nifty.ne.jp/kappei/law/you-koku.html>
国語科教育関係のリンク集 <http://www.st.rim.or.jp/ktake/links.html>
国語科教育関連リスト http://www.fed.hirosaki-u.ac.jp/ogura/links/link_kyoiiku.htm
国語教育 <http://www.shirakami.or.jp/kappei/kokugo/kokugo.html>

中学国語の部屋 <http://www3.mediagalaxy.co.jp/kyoiku-shuppan/kokugo/index.html>

日本語・漢字

池田証寿さんのページ <http://member.nifty.ne.jp/shikeda/index.html>

JIS漢字 <http://member.nifty.ne.jp/shikeda/jiskanji.html#208dic>

JIS漢字 <http://fan.shinshu-u.ac.jp/ikeda/jis/jiskanji.html>

漢字資料 <http://www.cup.com/negi/kanji.html>

日本語・日本語教育関連リンク集 <http://member.nifty.ne.jp/nihongo/link.html>

日本語と日本文学の電子テキスト <http://www.netlaputa.or.jp/ariadne/text.html>

日本語教育・研究情報 http://www.ipc.hiroshima-u.ac.jp/nihongo/forT_S/forT_S.html

文字鏡Net http://www.mojikyo.gr.jp/index_j.htm

文字鏡フォント配布 <http://www.mojikyo.gr.jp/free.htm>

テキスト

日本文学関係テキストファイル <http://www.konan-wu.ac.jp/kikuchi/linkd.html>

電子化テキスト一覧 http://www02.u-page.so-net.ne.jp/momo/m_honda/tdb.html

作品別リスト <http://www.wao.or.jp/user/naniuji0/04sakuhin.htm>

本のリスト 作品別 <http://www.aozora.gr.jp/sakuhin.html>

私立PDD図書館/日本文学 <http://www.cnet-ta.ne.jp/p/pddlib/literature/index.htm>

GENJI-MONOGATARI <http://www.sainet.or.jp/eshibuya/>

宮沢賢治童話館 <http://www.cypress.ne.jp/why/douwa/sinla2.html#H>

物語学の森 <http://www.asahi-net.or.jp/tu3s-uehr/>

源氏物語索引 <http://quartet.nijl.ac.jp/Genji/genji.html>

古典テキスト <http://www.asahi-net.or.jp/M14A-KSG/koten.html>

漢字データ集 http://www.kyu-teikyo.ac.jp/ichikawa/ichi/ichi_sft/knjrm.html

日本文学資料 <http://www.asahi-net.or.jp/LF4A-OKJM/bungaku.htm>

文学テキスト <http://ibuki.ha.shotoku.ac.jp/hisano/text.html>

検索エンジン

goo <http://www.goo.ne.jp/>

Infoseek Japan <http://www.infoseek.co.jp/>

LINUSU Search System http://libdb.nara-edu.ac.jp/linusu_www.html

NACSIS Web Search <http://websearch.rd.nacsis.ac.jp/websearch.html>

NTT DIRECTORY <http://beehive.navi.ntt.co.jp/index.html>

ODIN <http://kichihiro.c.u-tokyo.ac.jp/odin/>

Search Engines in Japan <http://www.ingrid.org/w3conf-bof/search.html>

WWWサーバ検索サービス「NETPLAZA」 <http://netplaza.biglobe.ne.jp/index.html>

Yahoo! JAPAN <http://www.yahoo.co.jp/>

ほら貝：ホットリスト <http://www.win.or.jp/horagai/salon/>

全文検索サーチエンジン(日本) http://agauss.fuis.fukui-u.ac.jp/bookmarks/search_jap

an.html

日本の検索エンジン一括サーチ <http://being.udn.ne.jp/research/meta/japan/>

5 . 情報公開の例

横須賀市教育研究所 <http://www.edu.city.yokosuka.kanagawa.jp>

横須賀市教育研究所では、「資料用教科書」（江戸後期～昭和戦前期）として、約3300点を所蔵しています。昭和23年の開設以来、これら資料用教科書の収集・整備を一つの事業として遂行してきました。より広い活用へ向けての情報提供をめざして「資料用教科書目録」をページ上に載せることとなりました。研究・調査にぜひお役立てください。

収録ジャンル

国語 習字 作文・文法 古書（文法・文学） 地理 歴史 公民 法
漢書・漢文 諸往来 修身 教訓 算数 理科 英語・ローマ字 音楽
図工 家事・裁縫 農業・商業等 諸教育 古書（雑学）

奈良教育大学 教育資料館 <http://www.nara-edu.ac.jp/LIB/siryokan.htm>

- ・所蔵「往来物」解説（科研費「研究成果公開促進」事業）
- ・所蔵資料リスト（科研費「研究成果公開促進」事業）
- ・「大和のうた」録音資料（牧野英三「五線譜に生きる大和のうた」より）
- ・戦後美術教育の軌跡と変遷（福島県本宮小学校の美術教育 昭和27～31年）
- ・奈良師範附属小学校文集「わかくさ」（大正11年～昭和6年 収録 科研費「研究成果公開促進」事業）
- ・奈良絵本画像データ（科研費「研究成果公開促進」事業）

奈良県師範学校附属小学校 児童文集「わかくさ」

我が国で文集指導が盛んになったのは大正時代の始めのころのことである。大正時代になって、自由教育の機運が高まってくるに連れて、考えたことを自由に綴る作文活動が盛んになりだした。大正7年から始まった、鈴木三重吉の月刊雑誌「赤い鳥」はその代表的な存在である。

「赤い鳥」と同じところに、本学の前身である奈良師範附属小学校の学校文集「わかくさ」の出版が始まった。惜しくも第1号と第2号は散逸してしまい収集することができなかったが、第3号から後の号は資料館で収集することができた。ここでは、第3号から30号までの本文を紹介することにする。

なぜ30号まででとどめたかということ、昭和期に入ると不景気の傾向が強まり、戦争体制を整えるための締めつけが強くなったために、作文教育が低調になったからである。この間の事情については、本教育資料館ビデオ「文集からみた奈良県の作文教育」（1994年度制作）に詳しく述べてあるので、合わせてご覧いただきたい。

この文集は年に2回ないし3回発行され、ページは40ページ前後である。なお、1号から26号までの文集名は平仮名の「わかくさ」であるが、27号から後は漢字が使われたり平仮名が使われた

りしてまちまちである。

奈良女子高等師範学校附属小学校で出版した月刊雑誌「伸びて行く」の創刊は大正10年のことであるから、同じ時期に「わかくさ」が出版されたわけである。(第1号が収集できなかったので創刊の正確な日時は不明である。)

各号の構成はほぼ決まった形式を取っており、「説苑」3・4点、「学校通信」3・4点、「児童作品」20～30ページ、という3部構成になっている、ここでは第3号から30号までの全文を掲載しているから、その具体を実際にご覧いただきたい。

全国的に見ても、大正時代にこれだけの文集が継続して発行された例は少ないから、ここに載せた「わかくさ」の持つ意味は大きい。第1部の「説苑」の内容は、教師の文章だけではなく父母の文章もかなり見られ、大正時代の自由主義教育をもっと推進しようとするものや教育制度そのものを改革しようとしたものが多い。また、第3部の「児童作品」は子どもたちの素直な感覚によって表現されたものが多く、明治末期から大正期にかけて話題となった形式主義的な色に染まった作文は見当たらない。

大正時代に、我が附属小学校では、形式主義作文にとらわれない自由で伸び伸びとした作文教育がなされていたことを、うかがい知ることができる。(奈良教育大学 国語教育・教授 増田 信一)

(03) 第 三 号 (大正十一年) ~ (30) 第 三十 号 (昭和 六 年四月)